

楽天ボラティリティ・ファンド (毎月分配型) / (資産成長型) ＜愛称：楽天ボルティ＞

毎月分配型

当作成期末	
基準価額	9,260円
純資産総額	462百万円
騰落率	46.1%
分配金合計	620円

資産成長型

当期末	
基準価額	17,221円
純資産総額	153百万円
騰落率	44.0%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

追加型投信/内外/資産複合/特殊型

交付運用報告書

(毎月分配型)

(作成対象期間 2019年10月16日～2020年4月13日)

第67期(決算日 2019年11月12日) 第70期(決算日 2020年2月12日)

第68期(決算日 2019年12月12日) 第71期(決算日 2020年3月12日)

第69期(決算日 2020年1月14日) 第72期(決算日 2020年4月13日)

(資産成長型)

第12期(決算日 2020年4月13日)

(作成対象期間 2019年10月16日～2020年4月13日)

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、主として楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)への投資を通じて、ボラティリティ関連資産への実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページアドレスにアクセス

⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択

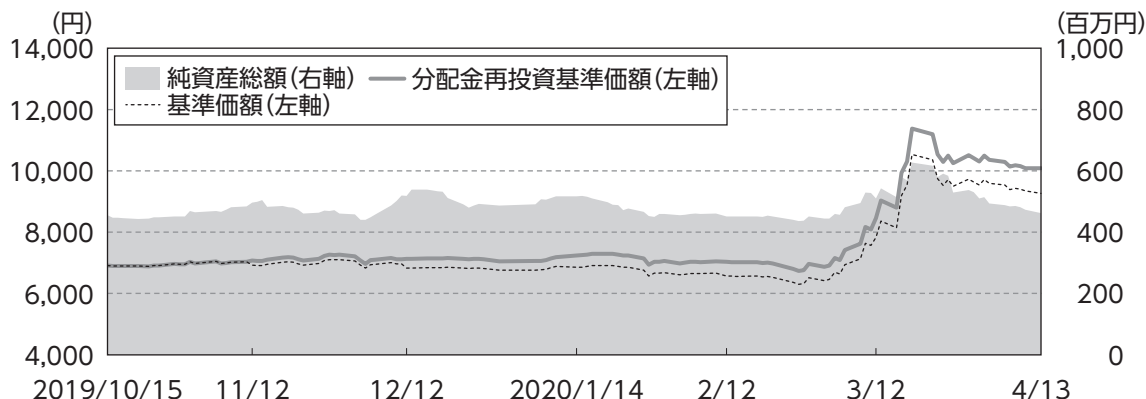
⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

Rakuten 楽天投信投資顧問

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



第67期首：6,907円

第72期末：9,260円(既払分配金620円)

騰落率：46.1%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

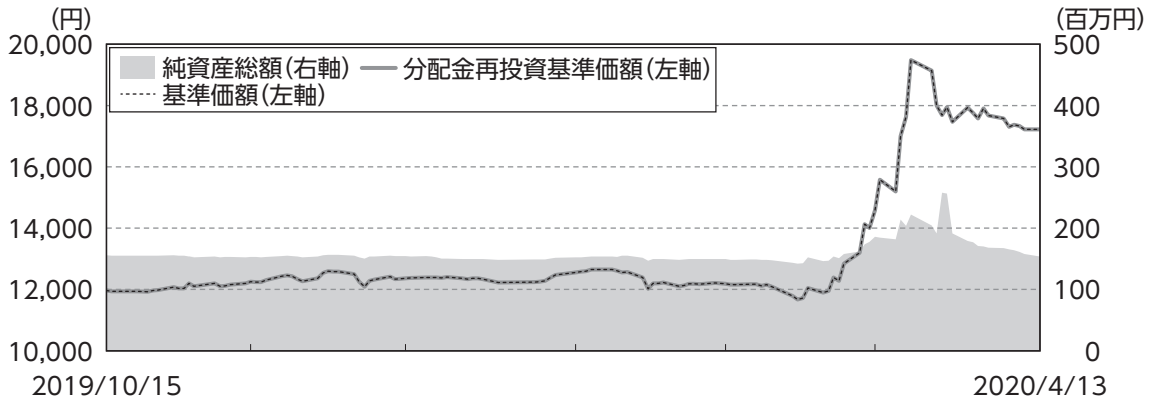
当ファンドの基準価額の主な変動要因としては、主要投資先である楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)(以下、「主要投資先ファンド」といいます。)の基準価額変動があげられます。主要投資先ファンドは、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品への投資を行います。主要投資先ファンドの基準価額の変動要因としては、実質的な最終投資対象であるVIX先物およびVIX先物の原資産であるVIXの値動きが主要なものとしてあげられます。

当作成期のVIXは、2020年2月前半までは、米中貿易問題や中国での新型コロナウイルス蔓延への警戒とFRB(米連邦準備制度理事会)の金融緩和に支援された株価上昇とが併存するなか揉み合う推移を続けたものの、2月下旬以降は米国での新型コロナウイルス感染者の急拡大を受けて急騰しました。

こうしたなか、基準価額は2月前半までは一進一退を繰り返しましたが、2月下旬よりVIX先物の買い持ちポジションを構築したことから、VIXの急騰を受けて基準価額は大きく上昇しました。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



期 首：11,962円

期 末：17,221円(既払分配金0円)

騰落率：44.0%(分配金再投資ベース)

- (注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3)分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の主な変動要因としては、主要投資先である楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)(以下、「主要投資先ファンド」といいます。)の基準価額変動があげられます。主要投資先ファンドは、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品への投資を行います。主要投資先ファンドの基準価額の変動要因としては、実質的な最終投資対象であるVIX先物およびVIX先物の原資産であるVIXの値動きが主要なものとしてあげられます。

当期のVIXは、2020年2月前半までは、米中貿易問題や中国での新型コロナウイルス蔓延への警戒とFRB(米連邦準備制度理事会)の金融緩和に支援された株価上昇とが併存するなか揉み合う推移を続けたものの、2月下旬以降は米国での新型コロナウイルス感染者の急拡大を受けて急騰しました。

こうしたなか、基準価額は2月前半までは一進一退を繰り返しましたが、2月下旬よりVIX先物の買い持ちポジションを構築したことから、VIXの急騰を受けて基準価額は大きく上昇しました。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2019年10月16日~2020年4月13日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	37円 (12) (24) (1)	0.506% (0.163) (0.326) (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は7,288円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	7 (0) (0) (7) (0)	0.102 (0.001) (0.007) (0.094) (0.000)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	44	0.608	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

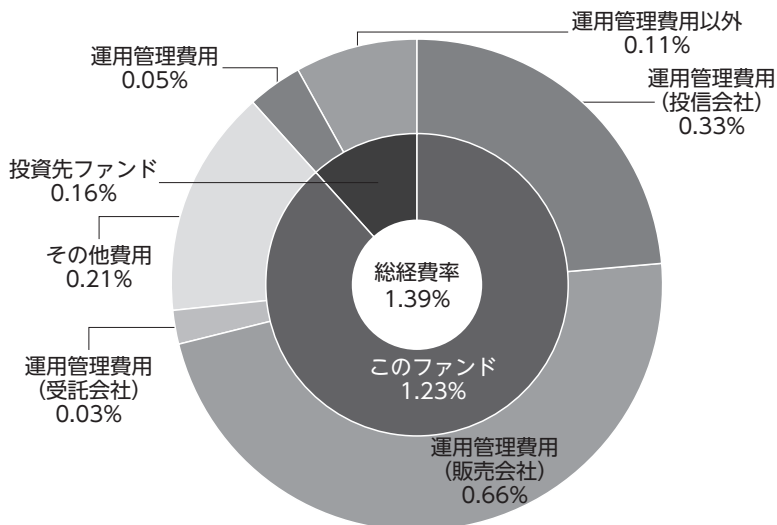
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.39%です。



総経費率 (①+②+③)	1.39%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2019年10月16日~2020年4月13日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	67円 (22) (43) (2)	0.506% (0.163) (0.326) (0.016)	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は13,177円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料= $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税= $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	15 (0) (2) (13) (0)	0.115 (0.004) (0.014) (0.097) (0.001)	(d) その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	82	0.621	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

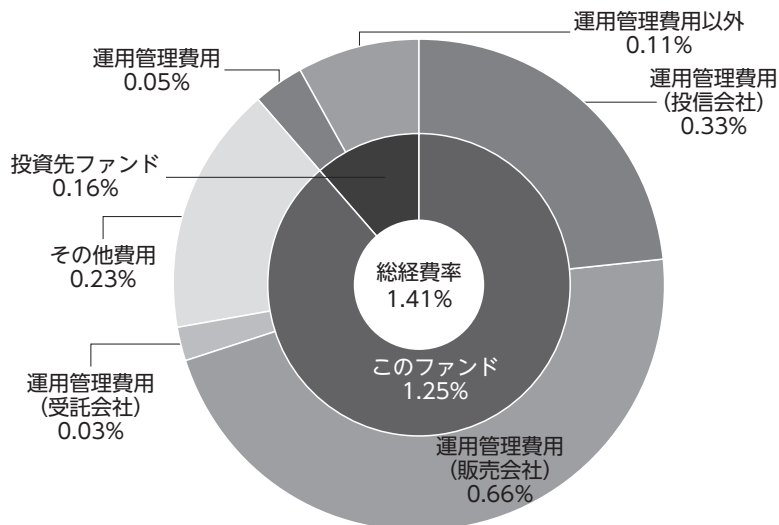
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.41%です。



総経費率 (①+②+③)	1.41%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

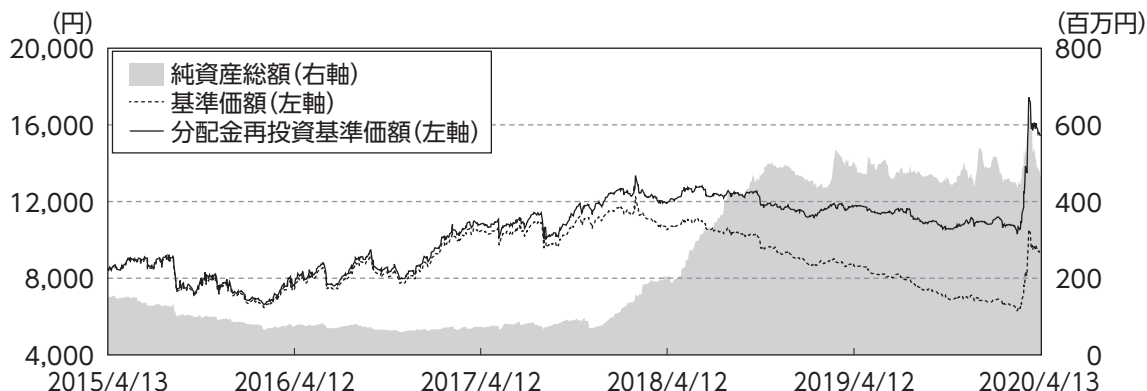
(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年4月13日～2020年4月13日)



	2015年4月13日 決算日	2016年4月12日 決算日	2017年4月12日 決算日	2018年4月12日 決算日	2019年4月12日 決算日	2020年4月13日 決算日
基準価額 (円)	8,498	7,423	10,466	10,519	8,625	9,260
期間分配金合計(税込) (円)	—	200	85	990	1,800	1,520
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△10.5	42.4	10.0	△1.2	31.4
純資産総額 (百万円)	150	74	73	202	498	462

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

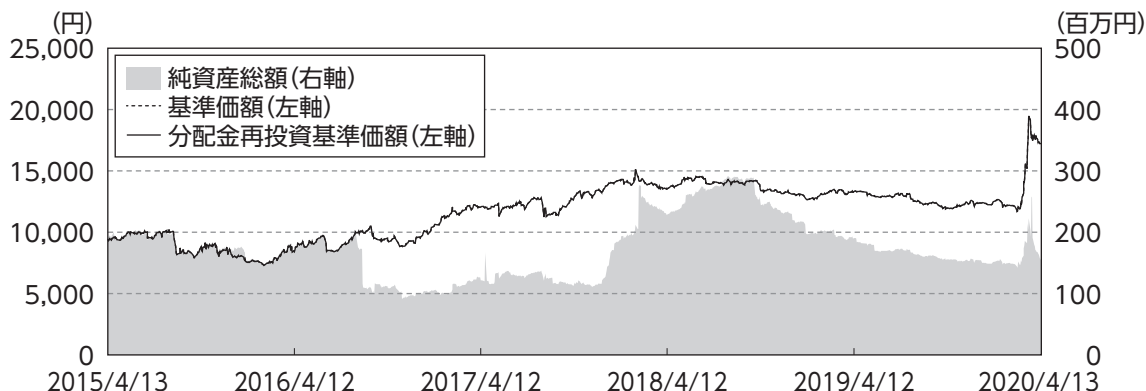
(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2015年4月13日の基準価額を起点として指数化しています。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年4月13日～2020年4月13日)



	2015年4月13日 決算日	2016年4月12日 決算日	2017年4月12日 決算日	2018年4月12日 決算日	2019年4月12日 決算日	2020年4月13日 決算日
基準価額 (円)	9,410	8,411	12,083	13,520	13,329	17,221
期間分配金合計(税込) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△10.6	43.7	11.9	△1.4	29.2
純資産総額 (百万円)	193	170	121	228	190	153

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

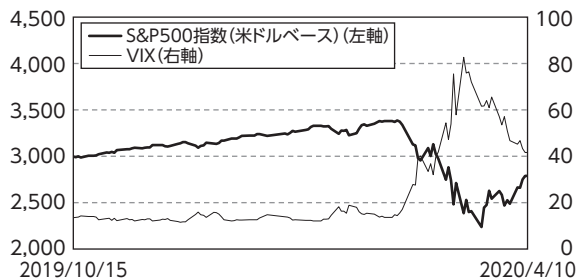
(注4) 分配金再投資基準価額は、2015年4月13日の基準価額を起点として指数化しています。

5 投資環境

当期の米国株式市場は、米中通商問題の長期化による実体経済の伸び悩みや中国の新型コロナウイルスの蔓延による景気減速が懸念されたことから、株価に下押し圧力がかかる局面であったものの、FRBが金融緩和に転じるなかで、2020年2月中旬まで上昇基調を維持しました。こうしたなか、VIXも短期的に上昇する局面であったものの、良好な推移を続ける株価を背景に2020年2月中旬まで概ね20ポイントを下回る水準で揉み合う推移が続きました。しかし、2020年2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染者が欧米でも急拡大し、経済活動の停滞による景気後退懸念が急速に強まったことから、米国株式市場は急落し、VIXは3月中旬にかけて暴騰しました。VIXは、3月中旬には終値ベースで2008年の金融危機時の水準を上回る82ポイント台に達し、その後低下に転じたものの、期末時点でも40ポイントを上回る高水準で推移しました。

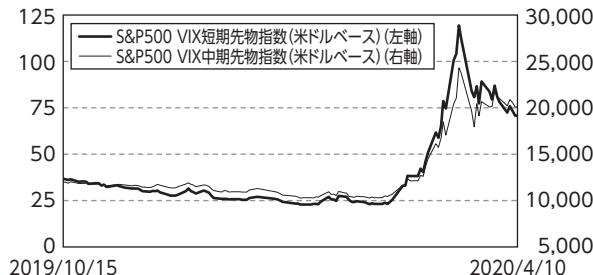
VIX先物の期間構造^(※)は、2020年2月中旬までは、限月間の価格差が縮小する局面であったものの、概ね、期先の先物価格ほど高くなる形状(コンタンゴ)で推移しました。しかし、VIXが急騰を始めた2月下旬以降は、期近の先物価格の方が期先の価格より大幅に高くなる、相場急変時に典型的に見られる形状に急速に変化しました。VIXが最も高い水準をつけた3月中旬以降は先物の限月間の価格差が縮小に向かったものの、期近の先物価格のほうが高い傾向は期末まで続きました。

*VIX先物の期日までの期間による価格差異の状況



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

6 当ファンドのポートフォリオ

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)は、楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)の受益証券(「主要投資先ファンド」)を主要投資対象とし、主要投資先ファンドを通じてボラティリティ関連指数に連動する投資商品への実質的な投資を行いました。

当作成期も、主要投資先ファンドのパフォーマンスを享受すべく、同ファンドの組入比率を高位に保ち、一部をSPDR[®] ブルームバーグ・バークレイズ 米国国債1-3ヵ月 ETF(米ドル建て)やコール・ローン等にて安定的に運用しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)

楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)は、楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)の受益証券(「主要投資先ファンド」)を主要投資対象とし、主要投資先ファンドを通じてボラティリティ関連指数に連動する投資商品への実質的な投資を行いました。

当期も、主要投資先ファンドのパフォーマンスを享受すべく、同ファンドの組入比率を高位に保ち、一部をSPDR[®] ブルームバーグ・バークレイズ 米国国債1-3ヵ月 ETF(米ドル建て)やコール・ローン等にて安定的に運用しました。

【楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)のポートフォリオ】

※楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)の作成期間(2019年9月10日～2020年3月9日)における運用状況を記載しております。

楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)における投資戦略は、VIXや関連する指数の方向性やその変化の度合い、VIX先物の期間構造^(*)等を総合的に分析したうえで構築されております。定量的な分析を土台に、VIX先物の目標エクスポージャーを日々計算しており、VIX短期先物指数に連動するETNを通じてVIX先物の実質的な買い持ちポジションを、VIX中期先物指数と反対の動きに連動するETNを通じてVIX先物の実質的な売り持ちのポジションを、それぞれ増減させます。

当作成期は、2020年2月下旬まで、VIX先物の売り持ちポジションを中心にポートフォリオを構築しました。しかし、VIXが上昇に転じたことを受けて、2月の終わりよりVIX先物のポジションを買い持ちに切り替えました。期末にかけて、買い持ちの割合を段階的に引き上げていったことから、VIXおよびVIX先物が大幅な上昇を続けるなかで、保有ポジションからの収益が急拡大しました。

*VIX先物の期日までの期間による価格差異の状況

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

(1万口当たり・税込)

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2019年10月16日~ 2019年11月12日	2019年11月13日~ 2019年12月12日	2019年12月13日~ 2020年1月14日	2020年1月15日~ 2020年2月12日	2020年2月13日~ 2020年3月12日	2020年3月13日~ 2020年4月13日
当期分配金 (円)	150	150	80	80	80	80
(対基準価額比率) (%)	(2.121)	(2.150)	(1.154)	(1.202)	(1.012)	(0.857)
当期の収益 (円)	—	—	—	—	75	80
当期の収益以外 (円)	150	150	80	80	4	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,030	882	803	725	1,531	2,681

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

投資信託財産の長期的な成長を追求する観点から、当期の分配は行わないことといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

(1万口当たり・税込)

項 目	第12期
	2019年10月16日~2020年4月13日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	7,876

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)および楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)は、主要投資先ファンドを主要投資対象とし、主要投資先ファンドを通じてボラティリティ関連指数に連動する投資商品への実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。主要投資先ファンドの組入比率は高位を維持します。

【楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)の今後の運用方針】

今後も、平常時と判断される局面では、VIX先物の売り持ちポジションを保有し、相場の大きな変動を受け、平常時からの変換が認められた際には、段階的にVIX先物の買い持ちポジションに切り替える運用を行います。

VIX先物は変動性の高い資産であり、VIX先物の売り持ちを行っている場合に、予期せぬ材料で相場急変が生じ、それを受けてVIXが急騰するような場面では、短期的に大きな損失を被ることが想定されます。また、相場急変を受けて、ポートフォリオがVIX先物の買い持ちに転じた後に、相場異変の懸念が一過性のものに終わり、VIXが急落するような場合にも損失を被ると想定されることにはご留意ください。

ファンドにおける運用スタイルは、株式等、一般的なりスク資産の市場における平常時、暴落時双方での高い収益力と、その反面時折起こる一過性の市場急変において受ける損失とを総合して、中長期的に高い収益を獲得するというものです。今後もVIX先物のポジションを機動的に変動させることにより、市場平常時の収益力と、株式等の暴落時におけるヘッジ効果を両立させる運用を目指してまいります。

なお、外貨建て資産は、80%以上を基本として対円での為替ヘッジを行います。

お知らせ

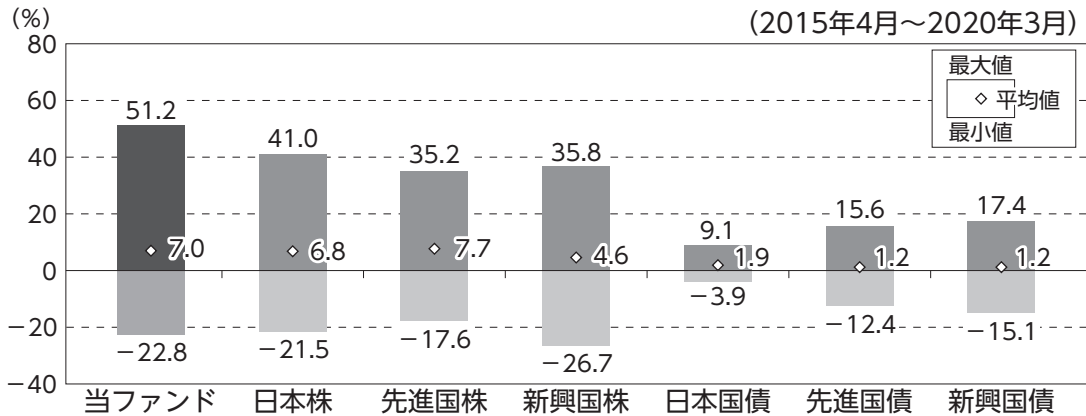
一般社団法人投資信託協会規則「信用リスク集中回避のための投資制限」に対応するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(約款変更実施日：2019年10月18日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型
信託期間	2014年4月23日から2024年4月12日まで
運用方針	投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①「楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)」(「主要投資先ファンド」)を主な投資対象とすることにより、主として、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品(ボラティリティ関連資産)への実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指します。また、投資信託財産の一部を、米国短期国債を主な投資対象とする上場投資信託証券(ETF)に投資します。</p> <p>②主要投資先ファンドにおいて、組入外貨建資産の割合に応じて対円での為替ヘッジを行います。ヘッジ比率は80%程度以上を基本とします。</p>
分配方針	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるよう、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス
(円ベース)

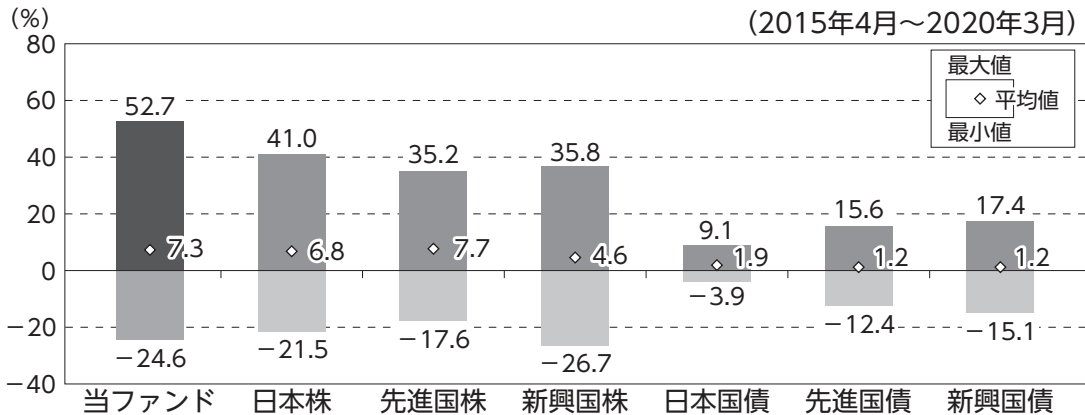
先進国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債(日本除く)
インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て高流動性国債
インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス
(円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債(日本除く)
インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て高流動性国債
インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

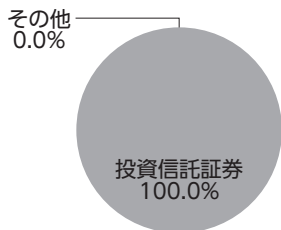
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

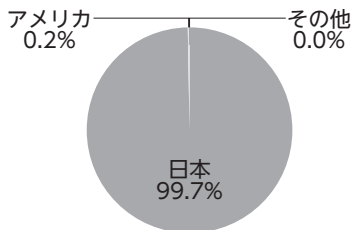
■組入ファンド

	当作成期末
楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	99.7%
SPDR® ブルームバーグ・バークレイズ 米国国債1-3ヵ月 ETF	0.2%
その他	0.0%
組入ファンド数	2

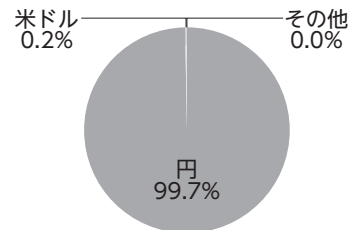
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
	2019年11月12日	2019年12月12日	2020年1月14日	2020年2月12日	2020年3月12日	2020年4月13日
純 資 産 総 額	497,049,766円	517,980,531円	516,720,824円	451,209,180円	510,418,435円	462,051,661円
受 益 権 総 口 数	718,169,137口	758,594,866口	753,936,740口	686,290,586口	652,042,538口	498,980,354口
1万口当たり基準価額	6,921円	6,828円	6,854円	6,575円	7,828円	9,260円

※期中における追加設定元本額は611,069,392円、同解約元本額は772,159,876円です。

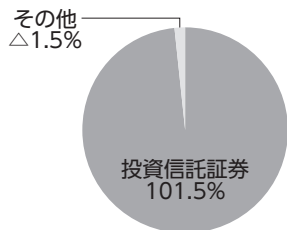
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

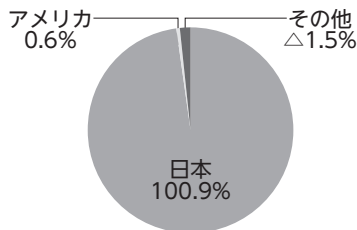
■組入ファンド

	当期末
楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	100.9%
SPDR® ブルームバーグ・バークレイズ 米国国債1-3ヵ月 ETF	0.6%
その他	△1.5%
組入ファンド数	2

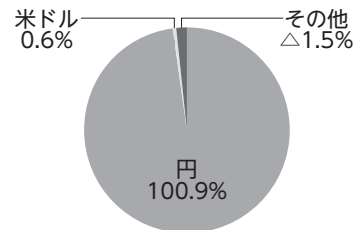
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第12期末
	2020年4月13日
純 資 産 総 額	153,684,157円
受 益 権 総 口 数	89,243,113口
1万口当たり基準価額	17,221円

※期中における追加設定元本額は89,704,005円、同解約元本額は130,512,709円です。

3 組入ファンドの概要

楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2019年9月10日～2020年3月9日)



■1万口当たりの費用明細

(2019年9月10日～2020年3月9日)

項目	当作成期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (販売会社) (受託会社)	2円 (0) (2)	0.027% (0.005) (0.022)
(b) 売買委託手数料 (投資証券) (先物・オプション)	24 (9) (15)	0.307 (0.112) (0.195)
(c) 有価証券取引税 (投資証券)	0 (0)	0.002 (0.002)
(d) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (1) (3)	0.056 (0.018) (0.038)
合計	30	0.392

期中の平均基準価額は7,796円です。

(注) 費用項目については3ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

■組入上位10銘柄

現物資産上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	US Treasury B 04/09/20	国債証券	米ドル	アメリカ	10.4
2	US Treasury B 05/14/20	国債証券	米ドル	アメリカ	10.4
3	US Treasury B 06/04/20	国債証券	米ドル	アメリカ	10.3
4	US Treasury B 07/02/20	国債証券	米ドル	アメリカ	10.3
5	US Treasury B 03/12/20	国債証券	米ドル	アメリカ	5.2
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		5銘柄			

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、株式先物は実質エクスポージャーを基に計算しています。

(2020年3月9日現在)

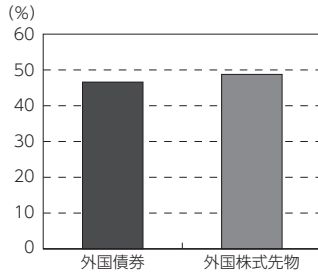
派生商品上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	CBOE VIX FUT	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	48.7
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		1銘柄			

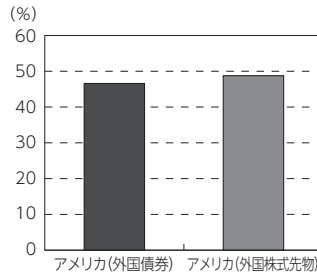
3 組入ファンドの概要

楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

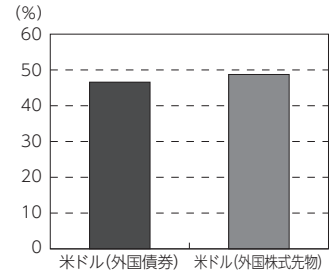
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、株式先物は実質エクスポージャーを基に計算しています。
 (注2) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

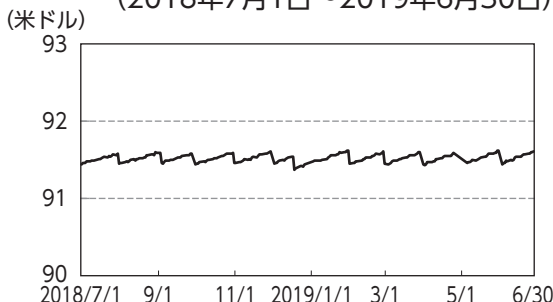
3 組入ファンドの概要

SPDR® ブルームバーグ・バークレイズ 米国国債1-3ヵ月 ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2018年7月1日～2019年6月30日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

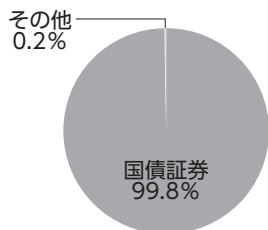
■組入上位10銘柄

(2019年6月30日現在)

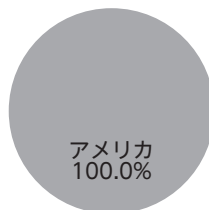
	銘柄名	発行国	比率 %
1	U.S. Treasury Bill 7/18/2019	アメリカ	10.7
2	U.S. Treasury Bill 8/15/2019	アメリカ	10.7
3	U.S. Treasury Bill 7/5/2019	アメリカ	8.4
4	U.S. Treasury Bill 7/25/2019	アメリカ	8.3
5	U.S. Treasury Bill 7/11/2019	アメリカ	8.0
6	U.S. Treasury Bill 8/1/2019	アメリカ	8.0
7	U.S. Treasury Bill 8/8/2019	アメリカ	8.0
8	U.S. Treasury Bill 7/2/2019	アメリカ	7.7
9	U.S. Treasury Bill 8/22/2019	アメリカ	7.7
10	U.S. Treasury Bill 8/29/2019	アメリカ	7.7
組入銘柄数			14

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

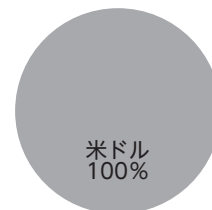
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。